

基本構想検討資料

この資料は、これまでの基本構想審議会の意見やキーワードをもとに、第5回審議会で議論するためのたたき台として作成した資料です。

現時点における検討段階の資料となりますので、今後、審議会からの意見を受け、内容に追加や変更が生じることをご了承ください。

もくじ

はじめに（案）

- I. 計画策定の趣旨と枠組み
 - 1. 計画策定の趣旨
 - 2. 計画の構成
 - 3. 計画の期間
- II. 計画策定の背景
 - 1. 社会潮流

基本構想（案）

- 第1章 基本理念
- 第2章 まちの将来像
- 第3章 まちづくりにおける役割
- 第4章 将来人口
- 第5章 取り組みの柱**

第5章 取り組みの柱

総合計画では、次の5つの取り組みの柱を掲げ、今後●年のまちづくりを進めます。

(1) 誰もが安全に安心して暮らしているまち

災害や犯罪から市民の暮らしの安全を守り、安心しておだやかに暮らすことのできる環境を整えることは、まちづくりの礎となるものです。

また、身近な地域で誰もがいつまでも健康で安心して暮らすためには、必要な福祉・保健・医療サービスが受けられるだけでなく、地域のなかで互いに支えあい助け合える関係を築いておくことが重要です。

市民の暮らしの安全が守られており、いつでも安心感に支えられている、「誰もが安全に安心して暮らせるまち」をめざします。

審議会における意見

：安全・安心、つながり、支えあい、助け合い、地域を見守る、安心して暮らせる地域

高校生WS

：高齢者が暮らしやすいまち、医療の充実

(2) 個性ある産業が世界へ羽ばたき、活力と賑わいに満ちているまち

本市は、城崎温泉や山陰海岸ジオパークに認定された玄武洞など、世界に誇れる数多くの観光資源や、自然環境をいかした多様なアウトドアスポーツ、また、出石そば、但馬牛、冬季のかにに代表される新鮮な魚介類など、多彩な食文化にも恵まれており、これらを活かしたインバウンド観光の推進が求められているところです。

また、豊岡靴やコウノトリ育む米など、地域の個性を活かした産業が育っており、小さな都市（まち）でありながら、世界の人々を惹きつける素地ができつつあることから、海外展開や観光産業との連携等に取り組み、地域産業を活性化していくことが重要です。

世界の人々を魅了する小さな都市（まち）として、世界中に TOYOOKA ファンが生まれており、地域経済が好循環している、「個性ある産業が世界へ羽ばたき、活力と賑わいに満ちているまち」をめざします。

審議会における意見

：世界とつながる、世界に目を向けた観光戦略、海外に認めてもらえるような都市

高校生WS

：豊かな食資源や観光資源の活用、観光業の促進、若者が興味を持つ観光業、情報発信、インバウンド観光

(3) コウノトリ舞う自然と調和した魅力ある環境が創られているまち

本市は、コウノトリも棲む豊かな自然環境が他都市にない大きな魅力となっています。価値観が多様化するなかで、都会における利便性の高い暮らしではなく、雄大な自然のなかで四季の移ろいを感じながら、心豊かに暮らすことが新たなライフスタイルとして定着しつつあり、本市においても、自然環境を大切に守り伝えながら、みんなで魅力ある住環境を創っていくことが求められています。

豊かな自然環境を守るため、市民一人ひとりが自然に配慮した暮らしを心がけており、豊かな自然環境に囲まれた魅力ある住環境が整っている、「豊かな自然と調和した魅力ある環境が創られているまち」をめざします。

審議会における意見

：残したい自然と文化、自然条件を生かしたまち、豊岡らしい風景、自然と調和しているまち

高校生WS

：環境を生かした生活、コウノトリ事業の推進、自然とのふれあいで学ぶ

(4) ふるさとを愛する地域の担い手が育っているまち

未来を担う子どもたちは地域の宝であり、地域で子どもたちの健やかな成長を見守るとともに、子どもたちに体験を通して、豊岡の歴史や伝統・文化を伝えていくことにより、ふるさと豊岡を愛する心を育み、地域の担い手として育てていくことが重要です。

また、市民がいくつになっても学び成長し続けられる環境を整え、日々の暮らしを楽しみながら人生を送れるよう支えていくことが求められています。

地域の見守りの中で子どもたちが健やかに育ち、ふるさとを愛する心を育みながら、いつまでも地域の担い手として活躍し、心豊かな人生をおくることができる、「ふるさとを愛する地域の担い手が育っているまち」をめざします。

審議会における意見

：ふるさとを大切に思う心を育む、まちづくりに子どもを参加、教育環境の向上

高校生WS

：豊岡市全体に関連した学習（郷土愛の醸成）、昔の文化を学ぶ

(5) 市民とともに持続可能な市政運営を推進しているまち

少子高齢化の進行に伴い、市民ニーズが多様化・複雑化する一方、社会保障にかかる将来の負担は増加することが見込まれていることから、選択と集中に基づき、限られた財源で最適な行政サービスを提供することが求められています。

また、中長期的な視点を持った持続可能な市政運営を確立するため、市民と行政との信頼関係を高めながら、地域の課題は地域で解決するという市民のまちづくりに対する主体的な参画と協働を促すことが重要となっています。

時代に応じた選択と集中による行財政運営が行われており、市民が主体的にまちづくりに参加し地域の課題を解決している、「市民とともに持続可能な市政運営を推進しているまち」をめざします。

審議会における意見

：市役所内、市民と市役所のつながり